

都学歯 広報

目次

● 烏しよ地区支援事業についての経過報告と 事業予定 その2	牧野 寛	2	3
● 新役員就任この一年 最近、気になること その8		4	
● 命のいただき方	澤田 章司	5	
● 地区学校歯科医会からのメッセージ 東京都西多摩歯科医師会／ 蒲田学校歯科医会		6	7
● 平成27年度 事業部ブロック地区支援 活動報告		8	
● こんなことが「学校歯科医執務記録」になります		9	
● 学校歯科医執務記録		8	
● 地区ニュース		10	
● 杉並		10	
● トビックス		10	
● 平成28年度第1回予算決算特別委員会／ 東京都学校歯科保健推進校(園)支援事業 選定校連絡会／第7回定時代議員会		10	11
● 平成28年度 各種大会日程		11	
● 平成28年度 ブロック別学校歯科医研修会日程		12	
● 会務報告／計報		12	

TOGAKUSHI KOHO



平成27年度ポスターコンクール優秀作品
港区立白金小学校
梅木 香音

一般社団法人 東京都学校歯科医会
〒102 東京都千代田区九段北4-1-20
-0073 TEL. 03-3261-1675
FAX. 03-3222-6528
<http://www.tasd.or.jp>
E-mail tasd@tasd.or.jp
発行人／鈴木 博
印刷／一世印刷株式会社

116

2016. 6

島しょ地区支援事業についての 経過報告と事業予定 その2

島しょ地区支援事業担当理事 牧野 寛



※事業立ち上がりの詳しい経緯については、平成26年11月発行の「都学歯広報 第111号」に掲載していますので、当時の掲載内容をご参照ください。

島しょ地区支援事業は、「東京都のどの地区の小中学校、幼稚園にあっても均一な歯科保健教育を提供できる環境でなければならない。ハンディがあると思われる地域に、可能な限りの支援をして歯科保健教育の普及に努めようではないか。」という、当たり前ようでなかなか実現が難しい理念のもとにはじまりました。教育委員会をはじめとする行政や学校の校長、養護教諭などに働きかけることなどを経て、2014年12月に大島へ、2105年1月に八丈島へそれぞれ出向き学校歯科保健支援活動を開始し、この事業は第一歩を踏み出しました。その後2015年6月に大島、2016年1月に再度大島と、さらなる活動の充実を図り、時には期待以上の結果を得ることもあり、また大きな壁に直面することもありました。その成果と課題をご報告させていただきます。

活動回数からお察しいただけるかと思いますが、この二つの島の成果に大きな差がついてしまいました。なぜ、大島で成果を得ることができたのか、また八丈島では何が問題となったのかをお話しさせていただきます。

大島は、小中学校6校の養護部会から「学校歯科保健の取り組み方について講演をお願いしたい」という依頼があり、支援がはじまりました。校長会の保健教育担当者を中心に養護教諭がまとめ、島内の開業歯科医師を少しずつ巻き込みながら、島全体が一丸となって歯科保健教育に取り組んでいこうとする体制が徐々に出来上がっていききました。大島町教育委員会もこの事業に積極的に、各校の視察、表敬訪問などのセッティングに多大な配慮をいただきました。2014年の最初の研修会にて、到達目標を提案させていただき、島独特の問題点も多々ありましたが、まずはそこを

目指すことで活動が開始されました。

その目標は、下記の3項目でした。

1. 北部地区、中部地区、南部地区それぞれの養護教諭が中心となり歯科保健活動に地域で取り組んでいく
2. 各地域もしくは各校にて学校保健委員会の開催を目指す
3. 学校医、学校歯科医、学校薬剤師を各校に配属する

まず、1に関しては、各養護教諭が研修会での課題を持ち帰り、各地区の独自の問題点を抽出して取り組みはじめています。

2に関しては、すでに南部地区の小中学校が合同で学校保健委員会を開催し、地域を巻き込みながら活動しはじめました。中学校校長を中心に委員会を立ち上げ、昨年秋に第1回委員会が開催されました。そこでは「南部地区の児童生徒が抱える保健上の問題点を抽出する」というテーマで行われ、目標設定（学校保健計画）が立てられました。今後、それらを評価するための第2回委員会も開催される予定です。南部地区を習って、北部中部でも学校保健委員会の立ち上げを検討しているそうです。

3に関しては、教育委員会の積極的な働きかけと前大島町長に我々から直訴したことが功を奏して、すでに学校医、学校歯科医が配属されました。大島には開業歯科医が5名在しますが、そのうちの3名に各地区の小中学校を一括で担当していただくことになりました。また嬉しいことに、内1名の都学歯入会を得ることができました。

過去2回ほど、つつじ小学校さくら小学校にて児童を対象に我々が歯科保健指導を行ってききましたが、今後は担当の学校歯科医が保健指導を行う

よう支援していく予定です。

というわけで、大島町では2014年から現在に至るまでかなりの急ピッチで学校歯科保健の整備充実が実現していきました。3月に行われた都学歯大会にも、大島から校長1名、養護教諭3名、教育委員会1名と5名もの参加をいただきました。関心度も高く、周到的な準備期間を経て、現在素晴らしい潮流に仕上がっております。今後は、大島町の歯科保健活動を円滑に運営していく手助けをし、学校歯科医の先生方の研修のお手伝いに尽力する予定です。



大島さくら小学校1年生 保健指導



大島さくら小学校6年生 保健指導

一方、八丈島は一人の中学校養護教諭から「1年生を対象とした保健指導をお願いしたい」という依頼を受けたのがはじまりでした。2015年1月に、中1の生徒にブラッシングを主とした保健指導をし、島内6校の養護教諭、開業歯科医師を対

象に研修会を開催いたしました。歯科医師は2名の参加があり、1名が都学歯に入会していただきました。

八丈島は、歯科疾患統計の特徴として歯肉炎の多さが際立つ地域です。そのあたりを中心に今後の学校歯科保健活動のテーマを提案させていただき、再度の研修をお約束いたしました。

後日、この養護教諭から学校保健委員会を立ち上げる相談を受け、第1回目が2015年11月に開催されました。保護者会の日程に合わせて30分ほどの短い会議でしたが、実施されたことには大きな意義があったと思われます。

しかし島内全体を見ると、志高き養護教諭が一人気を吐き孤軍奮闘している状態で、周囲から賛同を得ることができず、その後の活動は停滞しているのが現実です。当会からも教育委員会にも窓口になっていただき、養護教諭部会、担当する歯科医師（あえて学校歯科医とは定義しません）あたりに声をかけていただきましたが、研修会の開催は実現できずに現在に至っております。大島町での活動の充実を参考にいただき、八丈町にもご理解をいただければと考えております。



八丈島大賀郷中1年生 保健指導

また他の島、さらには島しょ地区以外でも、問題やお悩みをお持ちの地域が在ることも承知しております。先生方からのご意見、ご相談を戴きながら地区それぞれの事情を考慮し、的確なサポートを提供していく所存です。今後ともご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

以上、経過報告と活動予定のご案内をお伝えさせていただきました。

新役員就任この一年

理事 ● 箭本 治

理事を拝命し、早いもので一年が経ちましたが、まさに戸惑いの連続。それでも、川本会長はじめ経験豊かで見識のある理事の先生方のご指導のもと、何とか今日まで職責を務めさせて頂きました。

担当は総務を仰せつかりました。総務は、他の理事の先生方に気持ちよく仕事をして頂くようにサポートすることが役目と考えています。しかし、理事の先生方の足を引っ張らず、総務担当チーフの渡辺理事のご迷惑にならないようにするのが精一杯だったというのが正直な感想です。

事業関係では東京都学校歯科保健功労者表彰を担当しております。これは学校歯科医以外で学校歯科保健に関して功績があった個人及び団体を表彰するもので、昨年度は個人4名と2団体を表彰いたしました。学校歯科保健のために、先生方には学校歯科医として日頃よりご尽力頂いております。しかし学校歯科保健がさらに広く深く発展するためには多くの関係者の理解や協力が必要であり、この表彰により学校歯科保健の輪がより広がっていくことを期待しております。先生方におかれましては学校歯科医以外で学校歯科保健に尽くして下さいる個人若しくは団体がありましたら、奮ってご推薦ください。

都学歯の理事となり、学校歯科保健に真摯に取り組まれている先生に多くお会いできました。私も学校歯科医として、児童生徒のために、少しでもそのような先生方に近づけるように励まなければと痛感しております。残りの任期、微力ながら理事としての職責を果たすように努力する所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻宜しくお願い致します。

理事 ● 奥野 圭子

都学歯の広報担当理事になり、一年経ちました。初めての役員会では、不安な気持ちの中、地区の役員をしていたので知っている先生の顔

が見えて心強い思いになりました。東京都学校歯科医会の会員の先生方のお役に立てるようにとの思いで始めさせていただきましたが、まだまだですので今後さらに努力したい所存です。特に広報担当理事として、経験者である末高副会長と渡辺総務担当理事に親切に教えていただくとともに、委員会の先生、担当の印刷会社、ホームページ作成の方に助けていただき慣れないカメラと新しいパソコンを用意して、ご迷惑をおかけしないように活動してまいりました。地区ニュース、地区紹介は、皆様の記事で成り立っております。この場を借りて会員の皆様の投稿をお願いしたいと思います。また、参加させて頂く会で未掲載地区の先生に、「初めまして、わたくし広報担当の奥野と申しまして、実は〇月号の地区からのメッセージに是非是非先生の地区をお願いしたく……」とお声をかけてしまう無礼をお許し下さいませ。

理事 ● 後藤 有里

理事新1年生。“あつという間”の1年が“やっと終わった”というのが実感です。都学歯の事業にお世話になってはいたもののまさかの理事拝命。組織の運営とは実に変なのだという事を今まさに体験しております。しかも東京都学校歯科保健研究大会は第50回、全国大会は第80回で東京開催と記念大会続きの年度。右も左も解らず状態で多種多様な1年分の会務をなんとか無事に経験できた事は会長・副会長はじめ理事の先生方、事務局の皆様方のおかげです。本当に感謝しております。グローバル化していく時代、家庭・学校・地域で連携して子供達に健やかに生き抜く知恵を授けていくという事は今後益々重要度が増してくると思われま。学校歯科医の先生方は学校保健委員会等を通じて母親・教諭・地域の皆様との接点があり、まさに教育の現場に立たれているわけです。学術担当と致しましては会員の先生方のお役に立てる情報を少しでも多く発信できるよう頑張っていこうと思います。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

命のいただき方



学術担当理事 澤田 章司

地球上の生物において、その食物連鎖の頂点に
いるのは“人間”と言われる。我々人間はありと
あらゆる動植物を食し生活している。しかし、日
本の教育では、特に食用とされる動物の肉をどの
様な過程を経て食卓に上がっているかといった
生々しい内容を教えることは少ないようである。

私の家は東京でも山林が多い自然豊かな西多摩
地域であるが、患者さんから『先生は、鴨の肉は
食べますか』と尋ねられたことがある。『ええ、
食べますよ』と答えると、翌日、羽のついたその
ままの状態『狩猟で捕ってきた鴨だよ』と、手
渡された。またある日、別の患者さんが『猪を
撃ってきたから肉を取りに来なよ』と言うので
行ってみると、そのままの状態で横たわっていた
(写真)。どちらの場合も解体していただく訳で
ある。



以前、ある小学校で“命の教育”が行なわれ
た。子供たちに豚を飼育させて最後は肉としてい
ただくとした内容である。最初は子豚に餌をあげ
て皆でかわいがっていたが、段々と大きく成長
し、いざ屠殺場へ運ぶ段になって子供たちは『か
awaiiそうだから殺さないで』と涙して訴える。

この命の教育には当然ながら賛否両論があっ
た。賛成意見は、全ての過程を見せたり知ること
で命の尊厳とその命をいただくことへの感謝の気
持ちを肌で感じることの重要性を訴える。一方、
反対意見は、心の発達はまだ伴っていない子供に
そこまで残酷なことを教えなくても良いではない
かといった内容である。スーパーで売られている
肉や魚は、あたかも工場で作られたただの生産物
かのごとく思って購入する現代人。ある若いお母
さんは鮭の切身を見て、その腹身を尾びれと勘違
いし、その形で川を泳いでいると思い込んでいる
といった、嘘のような本当の話もある。

日本でもかつては、庭先で鶏を飼育し首を絞め
ていただいた訳であるが、こうした命のいただき
方（命の教育）を現代人にはいつの発達段階で教
育すべきなのか最近分からなくなってきた。小学
校の食育授業で、食前の挨拶『いただきます』に
は、動植物の命をいただくことへの感謝の意味が
込められていることを子供たちに教えている私で
はあるが……。

地区学校歯科医会からのメッセージ

東京都西多摩歯科医会

母子・学校歯科保健委員会
担当理事 井上雄温



東京都西多摩歯科医師会は東京都の西にある、あきる野市・青梅市・羽村市・福生市・奥多摩町・日の出町・瑞穂町・檜原村の8市町村からなる歯科医師会です。また、それに対応して5つの歯科医師会（秋山・青梅市・羽村市・福生市・瑞穂町）がお互いに連携を取りあいながら地域歯科保健や歯科医療に努めています。西多摩歯科医師会における学校歯科保健については平成15年にこれまで学校歯科保健の活動を行っていた西多摩学校歯科医会を会務のより円滑な遂行および学校歯科医以外の会員にも学校歯科保健を理解して頂くため解散し公衆衛生Ⅱ委員会として本会に帰属されました。その後、母子・学校歯科保健委員会と名称を変え乳幼児から児童生徒までの小児に関する歯科保健の活動を担っております。したがって学校歯科保健に関する講演会や研修会については学校歯科医でなくても参加することができ、将来学校歯科医となる会員の勉強の場ともなっております。また、すべての会員に学校歯科健診の実情や学校歯科治療勧告書などについてご理解をいただくことで円滑な歯科治療や相談に役立っております。

平成28年度4月現在の学校歯科医は88名で西多摩歯科医師会における学校歯科医の推薦条件により全員が東京都学校歯科医会および日本学校歯科医会に属しております。また、学校歯科医には研修会や研究大会等への出席が義務付けられており2年前より年度末に「学校歯科医研修会・研究大会出席報告書」を提出することになっております。

最後に西多摩歯科医師会における学校歯科保健に関する母子・学校歯科保健委員会の事業をご紹介します。

4月 新任学校歯科医研修会開催

新しく学校歯科医になられた会員に学校歯科保健に関する知識や学校歯科医としての心構えそして実際の歯科健診についての研修を行います。

6月 学校歯科医・園歯科医研修会開催
学校歯科保健や健診に関わる最新の情報や幼稚園・保育園における健診について研修を行います。

8月 西多摩歯科医療保健連絡協議会開催
西多摩地域の8市町村の教育委員会および健康課等の関係者が一堂に会し、小児の口腔の健康について協議会を行います。目的は8市町村での小児の歯科保健の地域格差をなくすことですが、とかくこのような協議会は地域対歯科医会という構図になりがちです。しかしこの会は地域の歯科医師会・教育委員会・健康課の方々が一丸となって各地域の歯科保健の特色や新事業あるいは問題点について委員会が進行役となり協議を行い、ここ数年はこの会の初めに15分ほどですが研修会を行い各市町村の関係者の方々に学校歯科保健や乳幼児歯科保健によりご理解いただく努力をしております。

2月 西多摩学校歯科保健研究大会開催
西多摩歯科医師会における学校歯科に関する最大のイベントです。例年歯科大学等より講師をお招きし学校歯科医はもとより教諭や教育委員会の方々と一緒に研修会や講演会を行っております。この講演会の最大の特徴は同じ講師に2回、3回と続けて講演をお願いしていることです。数回続けて同じ講師に講演をして頂くことで継続的な講演を聞かせることや、講師の先生とも親睦を深めることができ活発な意見交換も行われます。昨年度は日本歯科大学生命歯学部衛生学講座教授の福田雅臣先生に4年連続で4回目の講演をして頂きました。ちなみに現日本学校歯科医会会長の丸山進一郎先生にも十数年前ご講演をして頂きました。その他東京都学校歯科保健研究大会等の東京都学校歯科医会の事業にも協力させて頂いております。

以上、西多摩歯科医師会における母子・学校歯科保健委員会の学校歯科保健についてご紹介させて頂きました。

これからもより組織の充実を図るとともに東京都学校歯科医会等のご指導のもと西多摩地域における学校歯科医の知識と意識のさらなる向上に努めていきたいと考えております。

今後ともよろしくお願い致します。

蒲田学校歯科医会

会長 小林正幸

大田区には同じ行政区内で、大森と蒲田それぞれの地区に歯科医師会と学校歯科医会があります。蒲田は東京都の南に位置し、多摩川や東京湾に隣接しており都内には比較的自然的な環境も多く感じられます。近くに羽田空港があり国際線・国内線とも整備され、2020年東京オリンピック開催も視野に入れて、空港へのアクセスや周辺のインフラも強化されてきています。

大田区蒲田学校歯科医会は45名の会員を、区立小学校26校、区立中学校12校（夜間中学校1校兼務）、都立高校4校、定時制高校2校、特別支援校2校、私立高校1校に配しています。発足は昭和25年と古く、以来65年以上にわたり学校保健活動に従事してまいりました。現在は保健・組織・教育の3本柱のうち学校現場での児童・生徒（教諭・PTAを含む）の教育にちからを入れています。ただし学校に行き声高に口腔ケアのことを発信しても、寝耳に水でありますのはご承知のこ

とと思います。最近いわれております「多職種連携」という言葉は、訪問診療・訪問看護・訪問介護の現場で、摂食嚥下機能訓練などで、よく耳にしますが、われわれ学校歯科医も学校現場では連携の一員ではないかと思うようになりました。学校保健会という組織があります。どちらの地区でも同じでしょうが、学校保健会は文部科学行政の外郭団体であり地区教育委員会が統括しています。大田区学校保健会は9つの部会で組織されており、各部会が児童・生徒の健康に関する調査・研究ならびに研修会・講習会事業を展開しています。各部会とは内科・眼科・耳鼻科・歯科・薬剤師・校長・養護・栄養士・PTAであります。すこし乱暴な表現ですが9つの多職種連携ではないかと思っております。各部会のなかに各種委員会があり、企画・学術・広報・心疾患・腎疾患・生活習慣病・学校精神保健等にかかわっていて都内の学校保健会の中でも充実している組織だと思います。

一人の児童・生徒をみんなで見守っている学校歯科医ひとりひとりを、応援できる蒲田学校歯科医会でありたいと思っております。



平成27年度 事業部ブロック地区支援活動報告

ブロック地区支援担当理事 酒井 克典

今年度も全ブロックで、活動ができました。

- ① 平成27年7月2日（木）城東ブロック地区学校歯科医会役員連絡協議会
- ② 平成27年8月27日（木）中央ブロック連絡協議会
- ③ 平成27年10月1日（木）城北ブロック連絡協議会
- ④ 平成27年11月14日（土）多摩ブロック①地区学校歯科医連絡協議会
- ⑤ 平成28年1月21日（木）城南七歯会学校歯科保健担当者連絡協議会
- ⑥ 平成28年3月20日（木）城西ブロック連絡協議会

平成28年度は、昨年度協議会を開催されなかった、多摩ブロック②と③地区での開催も含め、支援応援していきます。

地区支援としての講演は、

- ① 平成28年2月16日（火）向島学校歯科医会と本所学校歯科医会合同での学校歯科医講演会、「学校歯科におけるカリエスの判定基準について」という演題で、
- ② 平成28年1月14日（木）島しょ地区大島町小・中学校養護教諭会「伊豆大島学校歯科保健の取組・都学歯からのお願い」を講演させ

ていただきました。

「ブロック別支援事業」という名称で連絡協議会を開催させていただいておりましたが、名称が例年3ブロックに分けて開催されている「ブロック別学校歯科医研修会」と、混同されやすいと地区からのご指摘を受けておりました。東京都学校歯科医会会誌第79号＜平成28年3月＞での川本会長の巻頭言でもありましたように、これからは地区別にご了解をいただきながら「地区学校歯科医連絡協議会」と名称変更をいたしまして活動を継続していきたいと思っております。

平成28年度も会員そして地区役員先生方のお力になれるように、バックアップさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。



● こんなことが「学校歯科医執務記録」になります ●

学校歯科医執務記録は学校保健法施行規則で「学校歯科医が職務に従事したときはその職務を学校歯科医執務記録簿に記入し校長に提出する」と定められています。

学校に出向いての執務はもちろんですが、

- ①校外施設での指導
- ②学校における学校保健に関する各種会合
- ③（教育委員会主催等）指定された研修会、講演会への参加
- ④（教育委員会主催等）指定された大会、学会等への参加
- ⑤養護教諭や学級担任からの相談（電話、メール等）
- ⑥診療所に来訪した児童・生徒の保健指導

なども執務とみなされます。

※①～④は「出勤」、⑤、⑥は「協力」になります。

なお、執務記録の「8. 学校行事に参加」には入学式、卒業式、周年事業、運動会、学芸会、PTA、学校保健委員会等も含まれます。

個別のケースについては、所管の教育委員会にお問い合わせください。

学校保健に関する歯科医師会などの理事会・委員会への参加そのものは「出勤」になりません。来校して学校保健の内容を情報提供することが「出勤」になります。また、電話・ファクシミリ等で学校保健の内容を学校歯科医が直接に学校へ情報提供することは「協力」になります。執務記録に記載してください。

9 ページの執務記録をコピーしてお使い下さい。

認 印 欄	(学校長)
-------------	-------

年 月 日

学 校 歯 科 医 執 務 記 録

		執務者氏名	⑩
執務日時	月 日 () 午前・午後 全 日	執 務 場 所	学校, 診療所 (来訪電話等), 研修会, 大会, その他 ()
執 務 の 概 要			
項 目		記 事	
1 学校保健委員会等 (1) 学校保健計画立案 (2) その他			
2 定期健康診断			
3 就学時健康診断			
4 臨時健康診断			
5 健康相談及び健康指導 (1) 健康講話 (2) 相談 (3) 健康指導 (4) その他		特 記 事 項	
6 学校保健に関する研修会, 大会等			
7 授業参加			
8 学校行事に参加			
9 その他 (1) 救急時の処置 (2) フッ素塗布 (3) その他			

注意事項

- 1 学校歯科医は, 職務に従事したとき, その状況をこの執務記録に記入し, 校長に提出してください。
- 2 この執務記録は, 執務日ごとに記入してください。1日のうちで執務が数種にわたる時でも, 1枚にまとめて記入してください。
- 3 学校以外の場所で執務した時は, 出校時に記入してください。

「歯と口の健康づくり推進」事業について

杉 並

平成27年度より杉並区では児童生徒の歯肉炎の減少を目的とした「歯と口の健康づくり推進」事業が開始されました。この事業は、めざましいむし歯の減少に比較して一向に減少していない歯肉炎を減少させるため杉並区教育委員会と杉並区学校歯科医会の共同プロジェクトとなります。

成人の生活習慣病予防の観点からも子供の時期にきちんとした歯みがき習慣を身に付けていく必要があります。子供の時期に知識としてむし歯だけではなく歯肉炎を理解しておくこと、そして自分の健康は自分で守っていける生活習慣の確立が必要となってきます。

以上の目的から今回の「歯と口の健康づくり推進校」での授業内容は以下のようになっています。

- ① 歯肉炎の理解に特化した説諭をする
- ② ペリオスクリーン検査をする
- ③ 学校歯科医による歯肉炎のチェックをする
- ④ G, GOの生徒はかかりつけ歯科医を受診する
- ⑤ 教諭への歯周病講習をする

各項目の詳細は以下となります。

- ① 歯科衛生士により子供たちの理解を得られやすいように歯肉炎のみに焦点を絞った説明をします
- ② 唾液の鋭敏な潜血反応をみて、子供たちの理解を深め、学術的解析に使用します
- ③ その場で学校歯科医がチェックして検診の精度向上をはかります
- ④ かかりつけ歯科医と連携をはかりブラッシングの個人指導, G, GOの改善をはかります
- ⑤ 先生の歯肉炎の理解を深めるため杉学歯で作成したスライド等を使用した講習をします



むし歯の大幅な減少下における学校歯科衛生では、歯肉炎への取り組みが中心となっていくものと思いますが、学校歯科の現場では依然としてむし歯予防中心の思想が蔓延しています。杉並区学校歯科医会10年にわたる口腔保健指導の実績を踏まえて、今後は歯肉炎の予防に意識をシフトしていかなければならないと考えます。歯肉炎は理解の難しい疾患ですし、ブラッシング指導については個人指導が不可欠と感じています。今後は地域の歯科医と連携を密にしての子供たちの歯肉炎予防への取り組みが定着し、歯肉炎の罹患率が低下することを強く望みます。（小川 学）

トピックス

平成28年度 第1回予算決算特別委員会

平成28年5月12日（木）16時30分より歯科医師会館2階会議室で、澤 正宏委員長の開会に続き、川本会長の挨拶、第7回定時代議員会の日程が報告されました。引き続き協議事項に移り、高橋裕幸会計担当理事により決算の審査事項が説明され、小川 学先生、井上雄温先生、土方靖夫先生より質問、要望がありそれに対して長沼会計担当理事、今村税理士より説明がありました。その他として鈴木専務理事より第80回全国学校歯科保健研究大会の準備が進んでいて皆様各地区



のご協力、ご参加をお願いしますとのことでした。最後に小川先生の言葉で閉会しました。

トピックス////

東京都学校歯科保健推進校（園） 支援事業選定校連絡会

平成28年5月26日（木）17時30分より歯科医師会館2階会議室で開催されました。東京都教育庁より三ツ木課長、品川区立城南第二小学校より鶴田校長、小林養護教諭、東川学校歯科医、東京都立水元特別支援学校より田邊校長、森田養護教諭、根岸学校歯科医が参加してくださり、実施の趣旨説明に続き各校の特徴、取り組みについてうかがいました。

高層マンション建築の影響で児童数の増えた城南第二小学校では、噛む力を増すために給食に固いものを入れたり、歯みがき時間に音楽を流したりして効果が



あるそうです。この20年で児童生徒が4倍に増えた水元特別支援学校は、担当の根岸先生が専門の勉強を大学でなさって、摂食指導を年4回しているとのことで大変心強いです。最後に末高副会長が閉会しました。

トピックス////

第7回定時代議員会

平成28年6月2日（木）、歯科医師会館1階大会議室で15時より開催された（代議員68名中64名出席）。

小嶋副会長の開会に続き、川本会長挨拶、来賓挨拶（丸山進一郎日学歯会長、高橋哲夫都歯会長、飯島裕之都歯連盟副会長）、議事録署名人選出（横山いづみ先生、岡部浩子先生）に続き、渡邊理事による会務報告、長沼理事による会計現況報告がなされました。議長、副議長選出（望月兵衛議長、藤野丑男副議長）のあと議事にうつり、鈴木専務理事が議案について説明された。

第1号議案 平成27年度事業報告及びその附属明細書

第2号議案 平成27年度貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書並びに財産目録



予算決算特別委員会の澤 正宏委員長より報告がなされ、吉田監事による監査報告をうけ、議案は可決された。その後協議に移り、各地区より質問や要望がなされ、また、7月21日のブロック別学校歯科医研修会及び11月16日・17日の第80回全国学校歯科保健研究大会についての説明があり、参加・協力について担当役員よりお願いし、末高副会長が閉会した。

平成28年度 各種大会・研修会日程

- | | | |
|---------------------------|-----------------------|----------------|
| ■ 第73回 全国小学生歯みがき大会 | 平成28年6月3日（金） | インターネット |
| ■ 平成28年度学校保健（学校歯科医）研修会 | 平成28年7月21日（木） | 歯科医師会館 1階大会議室 |
| ■ 平成28年度ブロック別学校歯科医研修会 | 平成28年7月21日（木） | 歯科医師会館 1階大会議室 |
| | 平成28年9月8日（木） | 立川グランドホテル |
| ■ 平成28年度第66回全国学校保健・安全研究大会 | 平成28年10月27日（木）～28日（金） | 札幌コンベンションセンター |
| ■ 第66回全国学校歯科医協議会 | 平成28年10月27日（木） | 京王プラザホテル札幌 |
| ■ 第80回全国学校歯科保健研究大会 | 平成28年11月16日（水）～17日（木） | 文京シビックホール |
| ■ 第51回東京都学校歯科保健研究大会 | 平成29年2月16日（木） | 歯科医師会館 1階 大会議室 |

平成28年度 ブロック別学校歯科医研修会日程

	第1回	第2回
日時	平成28年7月21日(木) 18:30~20:30 集合 18:00~ 開会 18:30~	平成28年9月8日(木) 18:30~20:30 集合 18:00~ 開会 18:30~
会場	歯科医師会館 1F 大会議室 (千代田区九段北4-1-20) ・TEL 3261-1675 ・最寄駅 ○JR中央線 市ヶ谷駅 ○東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅	・立川グランドホテル (立川市曙町2-14-16) ・TEL 042-525-1211 ・最寄駅 ○JR中央線 立川駅
演題	「歯と口の外傷—治療と管理の勘所」 ◇講師 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 口腔機能再構築学講座 小児歯科学分野 准教授 宮新 美智世	「歯と口の外傷—治療と管理の勘所」 ◇講師 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 口腔機能再構築学講座 小児歯科学分野 准教授 宮新 美智世

会 務 報 告

4/5(火) 会計閉鎖 会館
4/7(木) 東京都学校歯科保健推進校(園)支援事業
品川区立城南第二小学校訪問
品川区立第二小学校
4/14(木) 会計打合せ会 会館
第80回全国大会打合せ会 会館
ライブラリー打合せ会 会館
第1回事業部会 会館
第80回全国大会記念講演者打合せ会 華湘
4/18(月) 第1回学術研究委員会 会館
4/21(木) 第1回理事会 会館
第1回会誌広報委員会 会館
4/28(木) 東京都学校歯科保健推進校(園)支援事業
東京都立水元特別支援学校訪問
東京都立水元特別支援学校
第80回全国大会打合せ会 会館
5/11(水) 第1回全国大会実行委員会 会館

5/12(木) 第1回予算決算特別委員会 会館
5/19(木) 監査会 会館
第2回理事会 会館
生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり
推進事業実施校連絡会 会館
5/26(木) 第2回事業部会 会館
東京都学校歯科保健推進校(園)
支援事業選定校連絡会 会館
6/2(木) 第7回定時代議員会 会館

【訃報】

調 布 新中 満明 (調布市立深大寺小学校) H28. 4. 13逝去
上記の先生が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り
致します。(敬称略)

東京都学校歯科医会会誌 第79号(平成28年3月)

内容訂正について

会誌79号の学術研究委員会 委員長・副委員長の記載に誤りがありました。会員の皆様ならびに関係各位に深くお詫びいたしますと共に、今後このようなことがないよう気を付けます。ここに訂正させていただきます。

委員長 三浦みつ子(荒 川)

副委員長 久保 和彦(浅 草)